

# 校長室だより

岸和田市立浜小学校 校長：山崎 洋

No. 79 R8(2026)/02/19

「明日も笑顔！ 未来も笑顔!! ～つなげよう“信頼”～」

## ☆選手の数だけ熱いドラマが

日々、ミラノ・コルティナオリンピックの熱戦が繰り広げられています。これまで日本は、4年前の北京大会で獲得したメダル数を、さらに更新し続ける勢いで快進撃を続けています。

No.78ではスキージャンプの高梨沙羅選手やハーフパイプの平野歩夢選手の話について触れました。その高梨選手は、混合団体で見事に銅メダルを獲得しました。一方、満身創痍で参加した平野選手はメダルには届きませんでした。「本当に生きるか死ぬかの戦いみたいな気持ちで滑った」「無事生きて帰ってこれて良かった」と、日本中に感動を与えるパフォーマンスでした。

圧巻だったのは、なんと言ってもフィギュアペアのりくりゅうこと三浦璃来選手、木原龍一選手の大逆転金メダル。ペア結成から7年、大ケガやコロナなど苦難を乗り越えての偉業達成。解説の高橋成美さんの「こんな演技、宇宙一です!」というコメントがすべてを物語っています。

そのほかにも印象的だったのが、フィギュア団体で、アメリカとなんと同点でラストの対決を迎え、強烈なプレッシャーの中でトリを務めた佐藤駿選手の活躍と悔し涙。加えて、団体メンバーたちの激励の表情。

選手の数だけ、その裏に熱いドラマがあります。4年に1度しかないオリンピック、ぜひはまっこたちにも、その感動の一部分だけでも味わって、記憶のどこかに残しておいてほしいです。

※

…かく言う私ですが、実は私自身が小学生だった6年の間には、オリンピックが一度しかなく、しかも夏季五輪は不幸にも日本が不参加になった幻のモスクワ大会でした。残念なことに、柔道の山下泰裕選手が悔し涙の会見をしているところしか覚えていません。